

# 日本語教育が必要な生徒（児童）に対する 鹿児島県の教育

鹿児島県立鶴丸高等学校 2年 坂元 利奈

## テーマ設定の理由

近年、日本では、外国人労働者数や留学生が増加している中で、彼らの子供たちに注目した。私は、外国籍の子どもたちが日本の学校で十分な教育を受けられるようなプログラムを作りたいと思った。まずその為には、自分が住んでいる鹿児島県での教育を見直すべきだと考えたから。

## リサーチクエスチョン

日本語教育が必要な生徒（児童）が日本の学校で十分な教育を受ける為にはどのようなプログラムが最適であるか

\*日本語教育が必要な生徒（児童）とは、重国籍や保護者が外国籍である等の理由で日本語以外の言語を家庭内で使用しているなどの事情により「日本語で日常会話が十分にできない生徒（児童）」及び、「日常会話ができても、学年相当の学習言語能力が不足し学習活動への取り組みに支障が生じる生徒（児童）」のことである

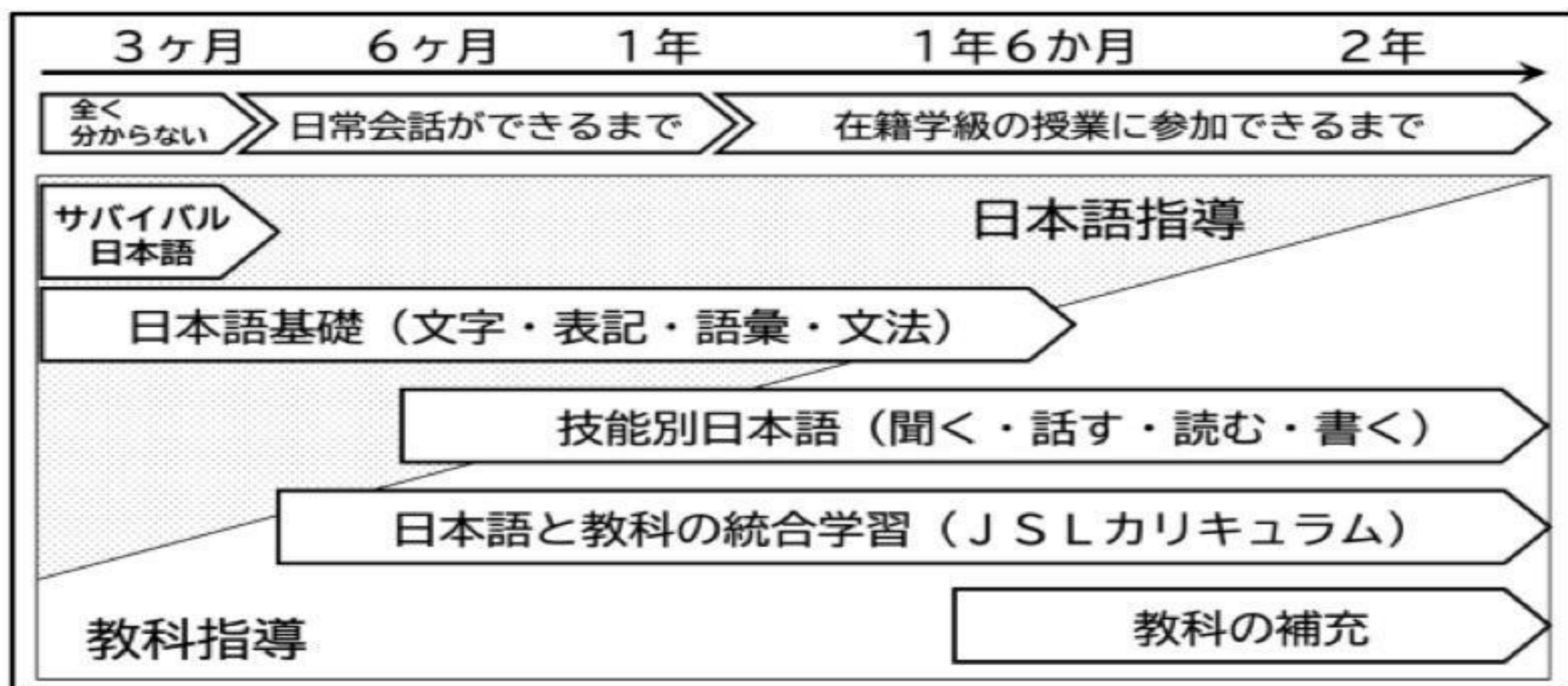
## リサーチクエスチョンに対する仮説

日本語教育が必要な生徒（児童）が十分な教育を受けるための最適なプログラムは...

## 通常学級で他の生徒と 関わりながら学ぶこと

だと思う。

## 現在の鹿児島県での日本語教育が必要な生徒（児童）に対するプログラムとは



鹿児島県では、上記のプログラムに則りほとんどを別室で授業を受けさせることを推奨している

A  
先生

鹿児島県では教員数が少ないのに、どのようにして教員を確保するのか

プログラムは出しているのに、研修を行っていないため、授業の仕方がわからない

B  
先生

学習指導要領による身につけなければならない  
能力の共通点は...

自分の考えを他人の考えを聞く  
ことで改善していく

## 通常学級で日本語教育が必要な生徒（児童）を受け入れた時の課題

1. その生徒だけに時間を捻出してしまうこと
2. 受け入れる側の指導力やスキルを学ぶ時間の確保
3. 家族の方とのコミュニケーション
4. 日本語の言語習得
5. 意思疎通や学習を理解しているかの把握

etc...

## AIによる課題の解決策

Q.日本語教育が必要な生徒（児童）を受け入れる上で考慮しなければならないことは何か。

AI

- 教材を日本語が完璧にわからなくても視覚的にわかりやすいようなものを使用する
- 一人一人のニーズに応じた指導を行う
- 言語習得に時間がかかる子どもには個別のサポートを行う

## アンケート結果

日本語教育が必要な生徒（児童）を受け入れた小学校、中学校の先生方によると、効果的な日本語教育が必要な生徒（児童）のプログラムは...

## ●ピアサポーターを利用する

将来留学を考えている生徒（児童）などに協力してもらうこと

## ●通訳ができる支援員をつける

担任の先生だけではできないことを、他の先生やボランティアの人たちの協力を得ること

## ●日本語教室の増設

現在、鹿児島県には、日本語教室が名山小学校に1校しかないため、増やすこと

## 現時点で分かったこと

日本語教育が必要な生徒（児童）に対しては通常学級での授業がいい好ましいとされたが、日本語の習得が難しいといった課題が出てきた。その課題を改善するにはボランティアの人や、支援員、同級生の子どもたちの協力を得なければならない。

## 今後の課題

日本語教育が必要な生徒（児童）が日本語を習得するにはどのような方法が適しているかを考える。

## 引用文献

[http://www.edu.pref.kagoshima.jp/research/result/siryou/hyou dai/kyouikukeiei/pdf/2142\\_kyouikukeiei\\_41.pdf](http://www.edu.pref.kagoshima.jp/research/result/siryou/hyou dai/kyouikukeiei/pdf/2142_kyouikukeiei_41.pdf)